広報広聴委員会の活動の総括と次期に向けた検討課題等について（案）

広報広聴委員会

『飯田市議会が行う広報広聴に関する規程』の第3条が規定する所掌事務(※)の各号ごとに、当期の委員会活動等を振り返り、総括するとともに、検討課題などを次期に申し送る。

※『飯田市議会が行う広報広聴に関する規程』から抜粋
(所掌事務)

第3条 委員会は、次の事項について協議又は調整を行うものとする。

- (1) 議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- (2) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (3) テレビジョン放送及びインターネットを活用した会議公開に関する事項
- (4) 会議傍聴の推進に関する事項
- (5) 市民への講座等の開催に関する事項
- (6) 市民への議会活動の報告、市民との意見交換の場の企画運営その他市民からの意見の取扱いに関する事項
- (7) その他議会の広報広聴に関する事項

(1) 議会広報紙の編集及び発行に関する事項

平成31年1月発行号からリニューアルした議会だよりにさらに磨きをかけ、読みやすく親しみやすい紙面づくりを行うために令和元年度に編集班を設置し、編集を行っている。また、表紙のパターンも2つ用意し、議会だよりの内容に応じて使い分けている。

また、一般質問、代表質問、委員会などのページで、議員の思いが伝わるように、より充実した紙面の作成（議員から質問と回答のキーワードを提示するなど）を検討されたい。

さらに、議会だよりを読んでいただけるように、読まれるための広報紙として民間の知見、アイデア、ヒントなどを得ながら読みやすさやわかりやすさを追求する取り組み（例えば、デザインコンペ、飯田市のマスコットキャラクターのイラストを活用するなど）も考えられたい。

(2) 議会ホームページの管理運営に関する事項

一般質問、代表質問、常任委員会などのYouTubeにアップした動画に加えて、新型コロナウイルス感染症対策などの情報へのアクセスをしやすいするためのQRコードを議会だよりに掲載し、議会からの情報の周知アナウンスに努めた。

議会ホームページへの直接的な関与ではないが、議会だよりにホームページアドレスを掲載するとともに、リニューアルに合わせて、YouTubeへアクセスしやすいように、QRコードを付けるなどの改良を行った。

議事録、委員会資料などのホームページ上での公開にも、引き続き努められたい。

(3) テレビジョン放送及びインターネットを活用した会議公開に関する事項

飯田市議会では、ケーブルテレビによる本会議の中継、YouTubeによる本会議中継と委員会の中継と動画配信を以前から行っている。

市民の関心が高い、一般質問、代表質問、常任委員会などの動画へのアクセスを増やすため、議会だよりにQRコードを掲載し、議会や議員に対する関心を高めている。

再生リストの整理、見たい視聴者が求める動画へのアクセスのしやすさなどを工夫し、引き続き一般質問や委員会の動画サイトへのアクセス方法をしっかりアナウンスして、議会や議員に対する関心を高めることにつなげられたい。

(4) 会議傍聴の推進に関する事項

従前どおり議会だよりや広報いだにおいて議会傍聴の周知を行っている。

新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、3密を避けて傍聴ができるような席の配置、別室での視聴を可能にするなど、「新しい生活様式」に対応した会議傍聴のあり方を検討し、引き続き実践されたい。

(5) 市民への講座等の開催に関する事項

「飯田市議会出前講座実施要綱」に基づき、令和元年10月に山本小学校6年生を対象とした出前講座を実施し、議会についての説明、クラス別学習会等を行った。

出前講座の取り組みを議会だよりで周知しているが、新型コロナウイルスの状況を見ながら、出前講座に限らず引き続きアナウンスを実施されたい。

(6) 市民への議会活動の報告、市民との意見交換の場の企画運営その他市民からの意見の取扱いに関する事項

【議会報告・意見交換会について】

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、まちづくり委員会の皆様のご協力を得て、参加者数の制限と事前把握、分科会のみで開催、時間の短縮、検温とアルコール消毒の徹底などを行うとともに、従来の議会活動の報告に加えて市民との意見交換の場とすべく、名称を「議会報告・意見交換会」として開催した。

まちづくり委員会からは、共催のあり方、出された意見に対する議会からの回答などの要望があったため、広報広聴委員会で検討を行った。

今後は、従来と同じくまちづくり委員会との共催という形をとりながら、できるだけ速やかな市民への回答、予算決算審査を通じた調査研究、市民との意見交換に基づく政策立案等の磨き上げを行い、議会報告・意見交換会を起点とした2年間の政策サイクルの構築を図られたい。

【タウンミーティングについて】

従来の議会報告会では、まちづくり委員会の役員など動員型の参加者が多いのに対し、若年層や子育て世代の女性など普段声を出しにくい皆さんの参加があまり見られないという課題に対応すべく、「タウンミーティング」の実施に向けた「広聴に関する検討報告書」を作成した。

同報告書は、議会報告・意見交換会を起点とした2年間の政策サイクルの構築

と「タウンミーティング」の実施による広聴機能の強化を図ることを内容としているため、次期の広報広聴委員会において実践されたい。

また、龍谷大学の土山教授から添付資料No. 1-1及び1-2のとおり「タウンミーティング」の実施に向けたアドバイスをいただいているので、参考にされたい。

(7) その他議会の広報広聴に関する事項

【市民アンケート、意見募集に関する研究】

市民に対するアンケートによる意見の収集は、議会報告・意見交換会を通じて行っている。今後もアンケートの動向を注視しながら、市民の声を把握されたい。

また、議会報告会の参加者アンケートから課題の洗い出しを行い、①市民から出された意見への速やかな回答、市民との意見交換の場となる名称への変更等による「議会報告会の磨き上げ」と②「新たな広聴の場」の創設による政策サイクルの構築を目指している。

「広聴に関する検討報告書」を参照し、上記課題の解決に向けて実践されたい。

【議会の広報広聴機能について】

議会だよりの見直しを例にとれば、他の議会の活動を参考にすることは重要であり、次期において、機会があれば委員会として視察や研修をされることを提案する。

また、議会だよりのホームページやインターネット動画配信に加えてSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用するなど、議会からの情報発信を進める一方で、読んでもらえる、見てもらえる取り組みも検討されたい。

さらに、「広聴に関する検討報告書」を基に、議会における“広聴”をどう捉えるかの議論を、委員会で続けていかれることを要望する。

////////////////////////////////////

令和3年 月 日 広報広聴委員会 決定
令和3年3月19日第1回定例会（閉会日）広報広聴委員会 報告